

5th Christmas Concert

ピアノ四重奏の調べ



Violin
村石 達哉

Violin & Viola
綿貫 舞乃

Cello
クリストファー・聡・ギブソン

Piano & Cembalo
山田 亜理沙

コレッリ
合奏協奏曲 二長調 Op.6-4

ハイドン
ディヴェルティメント「ロンドントリオ」 第2番

ベートーヴェン
ピアノ四重奏曲 第3番 八長調 WoO 36

フォーレ
夢のあとに

フォーレ
ピアノ四重奏曲 第1番 八短調 Op.15

2021年 **12月23日(木)**

19:00 (開場18:30 終演21:00)

長野市芸術館 リサイタルホール (地下2F)

入場料 ¥3,000(一般) ¥1,500(高校生以下)

※ 10月30日(土) チケット発売開始

長野市芸術館チケットセンター Tel. 026-219-3191 (10:00~19:00/火曜日定休)

インターネット予約 » <https://t.livepocket.jp/e/0ribs>

■ 主 催
■ 問い合わせ先

グリーンハウス・コンサート実行委員会
Tel. 026-246-9986 (りんごホール)

自宅でゆったり
ネット鑑賞も!



・ Profile ・

山田 亜理沙 (ピアノ & チェンバロ) Arisa Yamada (Piano & Cembalo)



東京学芸大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了。ドイツ・ベルリンにて研鑽を積む。スタインウェイ国際ピアノコンクールin Berlin入賞、ベルリンフィルハーモニー室内楽ホールにて演奏。鹿児島新人演奏会出演、最高位である県知事賞受賞。大阪国際音楽コンクール アーリーミュージック部門(チェンバロ)入選。ポーランド国立クラクフ室内管弦楽団と共演。モーツァルテウム音楽院、パリ国際音楽アカデミー他、国内外のマスタークラスや音楽祭に参加。ピアノを中野孝紀、丸山淑子、チェンバロを西山まりえ、オルガンを石丸由佳の各氏に師事。現在、東京を拠点に、室内楽や歌曲・合唱伴奏に積極的に取り組む傍ら、後進の指導も行なっている。近年はチェンバロ演奏にも力を注いでいる。武蔵野音楽大学伴奏助手(指揮科)、洗足学園音楽大学演奏要員。

村石 達哉 (ヴァイオリン) Tatsuya Muraishi (Violin)



5歳よりヴァイオリンを始め、武蔵野音楽大学、同大学院、ベルリン国立芸術大学に学ぶ。SFBラジオ第2放送、ドイツ、イタリア、スウェーデンにおいてリサイタルを開いた後、95～96年にドイツのオーケストラ「エルブランド・フィルハーモニー」の首席コンサートマスターを務め集客力がなかった楽団を再生し惜しまれながらも退任し、その後ソロ活動に移りヨーロッパを中心にオーケストラと共演、音楽祭出演、客演指揮を行い99年に帰国し現在に至る。バロックヴァイオリンの奏者としても研鑽を積み、中国ツアー、米国ツアーを行った。バロック音楽の視点からの作品の演奏解釈を行いアカデミックな表現法を試みている。またそれが認められ2013年にはインディアナ大学の招聘を受け演奏。2015年より毎年ベルリンでのリサイタルを再開し、またオーストリアのオツタールで夏に行なわれている音楽祭のマスタークラスの講師を毎年務めている。

綿貫 舞乃 (ヴァイオリン & ヴィオラ) Maino Watanuki (Violin & Viola)



3歳よりヴァイオリンを始める。これまでに伝田充正、村石達哉、マリアンネ・ベッチャー(ベルリン芸大教授)、ハルトムート・オメツベルガー(ウィーン)の各氏に師事。ドイツ・ラインスベルクとオーストリア・オーバーグーグルのマスタークラスに参加し、共にファイナルコンサートに出演する。15年、16年、17年、19年ベルリン及びオーストリアでのコンサートに出演し好評を得る。18年にオーストリアのグラーツにてヴィヴァルディのヴァイオリン協奏曲を室内オーケストラと共に共演。19年にウィーンのカプツィーナ教会にて演奏会を行った。メセナジュニアオーケストラを経てメセナ市民交響楽団のメンバー、コンサートミストレスを務める。現在、ウィーンと日本での演奏活動と共に後進の指導も行っている。T&M音楽企画の専属アーティスト。

クリストファー・聡・ギブソン (チェロ) Christopher S. Gibson (Cello)



4才よりチェロを始める。高校在学中にTanglewood, Indiana University, Interlochenの夏期プログラムに参加。横浜インターナショナルスクール卒業後、2005年にミイェール大学に進学、哲学・政治学を二重専攻。在学中、Aldo Parisotとのオーディションに合格し、イェール音楽院にてメニューイン氏との共演を果たしたOle Akahoshi氏に、室内楽をWendy Sharp氏に師事する。2011年秋にイェール大学卒業後、哲学、文学、芸術を通して英語を教えると共に、チェリストとして東京・鎌倉を中心に活躍中。2012年冬、国際演奏家協会新人オーディションにてパツハ無伴奏ヴァイオリンパルティータで入賞した際、審査員の一人であるヴァイオリニスト川畠成道氏から「曲の世界に入り込むことの出来る演奏」という賛辞を受ける。

当公演の感染症対策 ～ ご来場される皆様へのごお願い～

当公演は座席制限によるソーシャルディスタンスの確保、来場者の検温実施などの感染症対策を講じています。必ずマスクを着用してご来場ください。発熱や風邪症状のある方は来場をご遠慮ください。手指の消毒にご協力ください。ご来場時、氏名と連絡先の記入にご協力ください。

※「駐車場(有料)」には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。」

